

草牟田寮餅つき大会、クリスマス会 参加者感想



鹿児島地区BBS会

鹿児島地区BBS会では、12月17日に午前は更生保護法人草牟田寮で餅つき大会を午後は鹿児島地区主催のクリスマス会を実施しました。

それぞれ参加会員に感想文を執筆してもらったため、以下の通り紹介します。

NEW!! 鹿児島大学1年 林 慶悟

本日は貴重な体験を得たと思います。私は子どものときクリスマス会という催しに参加したことがなかったため、参加してくれた子どもたちをとてもうらやましく感じ、いい思い出になってほしいと思いました。

クリスマス会は、エビカニクスという独特なエクササイズからいいスタートを切ることができました。また、子どもたちの元気の良さとお菓子でデコレーションする企画では子どもたちが創造したケーキに驚かされ、子どもたちの気力・想像力に改めて気づかされました。

次回の催しも積極的に参加し、どんどん子どもたちのいいところ発見していこうと考えています。

NEW!! 鹿児島国際大学2年 福原 大智

初めてBBSという団体の中で活動をさせて頂きましたが、1日が本当に充実していたという気持ちで一杯です。

初めて更生保護施設に赴き、そこで暮らしている方々との餅つきや、毎年恒例の演奏・食事会など普段生活をしている中では体験できない事がたくさんありました。

クリスマス会では先輩方が率先して設営から企画、司会進行などを行い、子どもたちを楽しませていた事が印象的で、私も先輩方のようなお兄さん・お姉さんになりたいなと思いました。

反省点としては、関わった方々の名前を自分から聞かず、お互いを知ってもらうところから繋がりを作れなかった事です。

鹿児島国際大学2年 松元 瞭（りょう）

午前は草牟田寮で餅つき、午後は南林寺でクリスマス大会がありました。餅つきでは様々な人が居て、貴重な話を聞かせてもらえました。人生で初めての餅つきは疲れましたが、とても楽しい経験でした。

クリスマス会ではレクレーションの司会をしましたが、準備が足りず直前までドタバタしてしまったため、次回からはしっかりと準備をしようと思いました。初めての司会は、とても緊張して、うまく出来なかったのですが、今度はうまく出来るよう経験を積んでいきたいです。



鹿児島純心女子大学2年 福岡 浄玖（しずく）

草牟田寮餅つき大会では、少年と直接関わる中で、知識として事前に学んでいたことを実践し、様々な質問に答えながら、将来へのひとつの考え方を伝えることができたことが自信に繋がりました。その一方で、臨機応変に応じる自身のスキルがまだまだ足りないと感じました。今後は多くの経験をしていく中で学び、気づきを増やしていきたいと思いません。

クリスマス会では、企画から関わることができ、一つのをみんなで作り上げる達成感や楽しさを実感しました。自ら説明し、教えていく中で、事前の準備と不測の事態の時、臨機応変に対応する必要性を感じました。

今後はみんなのスピードに合っているかを確認しながら、より良いものを作っていけるようにより分かりやすく伝え、もっと自信をもって取り組み、積極的にチャレンジしていきたいと思いません。

鹿児島大学4年 岩村 千尋（ちひろ）

午前は、更生保護法人草牟田寮での餅つきに参加しました。初めての更生保護施設で緊張しましたが、餅つきをすることで参加者の皆さんと関わることができました。その中で、少年とお話をしながら作業をしていたのですが、初めはどのように接したらよいのかわかりませんでした。しかし、一緒に作業をしているうちに自然と仲良く話せるようになりました。今回の餅つきでは1人の少年としか話すことができなかつたので、次回からは自分からもっと積極的に多くの少年に話しかけていこうと思いません。

午後は、クリスマス会に参加しました。アイスブレイクでダンスを踊ることや、レクリエーション、ケーキ作りなどを皆さんと楽しみました。クリスマス会をすることで、普段あまり話したことの無い方や子どもたちとお話しし、仲良くなれて良かったです。普段は、同年代の友人との関わりが多いため子どもたちと接する機会がありませんが、クリスマス会で子どもたちとの接し方を学ぶことができました。

もっと子どもたちに分かりやすく説明したり、うまく注意を促せるようになりたいと思いません。また次回は、参加者全員が楽しめるような雰囲気作りや進行のサポートを心がけたいです。

社会人（公務員） 福田 了望

草牟田寮の餅つきでは、初対面の少年達が多かつたこともあり、寮職員・女性会の方々より遠慮しがちではありましたが、餅つきや日常生活など、共通の話題を通して、和やかに少年達と交流することができました。

BBS 会主催のイベントでは、ダンスやお菓子作りをして盛り上がりました。世代や立場が違って、目の前の人に勇気を持って話しかけ、思いを共有すれば心は通じ合うと気づきました。今後の活動に活かしたいです。

社会人（公務員） 福永 脩（おさむ）

今回のクリスマス会では、企画・事前準備・当日の運営まで学生会員が本当によく動いてくれてとても助かりました、ありがとうございました。

反省点も色々ありましたが、協力して一つのイベントを完成させることの難しさと楽しさを知ってもらえればいいかなと思います。

最近は段々と学生会員が増えてきており、学生達は保育士や教師など教育系の将来の夢を持っている子が多いです。

会長としては彼らに将来に生きる経験・知識を得ていただきたいと考えています。クリスマス会での経験・反省をステップアップとして、南林寺スクールなどの次のBBS活動や実際の教育現場での実習に活かしていただければいいかなと思います。

BBS活動は少年達へのケアももちろん大事ですが、まずは自分のために行っていかなければ続かないと思いますので、その意識で次の活動へも積極的に参加してもらいたいと思います。

来年も南林寺スクールや県連で行うグループワークなど様々な活動を実施していくため、会員同士協力し合いながら良い活動を続けていければと考えています。

会員の皆さんは一緒に頑張りましょう、よろしくお祈りします。

【活動中の写真】

